

平成13年度(2001年度)以降の多文化サービスの取組み

図書館の取組み	催し実施年度	内容	備考	取組み
【案内】多言語版利用案内	平成13年(2001年)度～	登録時などに配布する図書館の利用案内の多言語版。初回作成時は英語・中国語・ハングル・ポルトガル語の4か国語。現在は10か国語で作成。図書館ウェブサイト上でも公開。翻訳にかかる費用については庄内REKによるリサイクル本の売上金などが使用されている。	ネパール語追加平成29年(2017年)度	IV-3
【案内】指差し外国語シートの設置		カウンターでの対応用 該当箇所を指差しして案内する職員向けのツール		IV-3
【案内】外国語フリーペーパーの配布		市が発行する多言語版の広報の配布(全館) 寄贈のある外国語のフリーペーパーの配布(庄内)		IV-3
【選書】外国語資料の選定		・とよなか国際交流協会を通して市内在住の外国語を母国語とする人へ母国語表記の資料のニーズ調査を実施 ・書店開催の外国語資料選書イベントへの参加 ・調べ学習資料のSDGs英語書籍(絵本)を購入	洋書;239冊(2017-2021年度) 多文化共生:145冊(2017-2021年度)	IV-1 IV-4 IV-6
【蔵書】多文化共生コーナー(庄内図書館)	平成23年(2011年)度～	「住民生活に光をそそぐ交付金(2011)」を活用し、暮らしの課題解決支援サービスのテーマのひとつとして庄内図書館にて「多文化共生」を目的として資料を収集、設置。約1,500冊	資料収集として年間予算があること。購入にあたっては国流や各図書館からの情報、書店の見計らいなどを参考に収集し、選書委員会を通して購入。 多文化共生:145冊(2017-2021年度)	IV-1 IV-6
【蔵書】世界の子ども本の部屋(岡町図書館)	平成7年(1995年)度～	一市民からの寄付金をもとに岡町図書館1階こども室奥に1995年に設置。当初は30言語6,448冊からスタート。現在はおよそ50か国語の子どもの本を約8,600冊所蔵。市内各館にも外国語の絵本資料があり、閲覧・貸出が可能。	8,594冊所蔵 5,359冊貸出:豊中の図書館活動 令和3年(2021年)度版より	IV-1
【利用】外国語資料の利用		登録者個人・小中学校での利用に伴う貸出、とよなか国際交流協会への配本・貸出		IV-3
【調査・検索】パスファインダー		調べもの支援ツールとして役立つ資料や情報関連サイトの紹介をしているパンフレット。『がいこくじんのためのせいかつがいど』『国際交流』のテーマで作成・配布		IV-3
【調査・検索】図書館ウェブサイトの外国語版		日本語・日本語かな表記・英語の他、機械翻訳による7か国語の蔵書検索対応が可能 「がいこくごのほんのさがしかた」を案内		IV-3
【研修】地域の多文化共生について	令和4年(2022年)度	令和4年度第1回「職場における人権研修」として、「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査報告書」を基に読書振興課全職員対象に研修を実施した。参加者106名。	庁内出前講座を活用。講師:人権政策課職員、とよなか国際交流協会山之上理事長と三木さん	IV-5
【関係機関協力・連携】おやこでにほんご	2002年～庄内図書館 2003年 岡町図書館 2012年 千里図書館	子育て中の外国の方が子ども連れて参加できる情報交換の場 岡町・千里・庄内図書館にて会場の提供で協力、とよなか国際交流協会と連携して実施		IV-4
【関係機関協力・連携】外国人親子に向けた高校進学相談会	平成26年(2014年)度～ 令和元年(2019年)度	庄内REKと豊中市立図書館共催事業。進学相談、中学校区の進路指導担当教員や大阪府立高校からの情報提供を対象に7月に実施。2019年以降は大阪府教育委員会が進路相談を含む多文化共生フォーラムを開催。		IV-2
【関係機関協力・連携】多文化カフェ	平成25年(2013年)度～ 令和3年(2021年)度	千里文化センター「コラボ」における千里文化センター市民実行委員会主催事業。地域在住の外国人・外国居住経験のある人を招いて異文化紹介をする企画。図書館からはテーマ国関連の資料紹介を行った	開始:平成25年(2013年)度図書館活動に報告あり	IV-2 IV-4
【関係機関協力・連携】図書館紹介	令和2年(2020年)度	とよなか国際交流協会開催の日本語教室へ図書館職員が出向いて図書館の利用案内、蔵書紹介などを行った		IV-1 IV-3
【関係機関協力・連携】おはなし会など	平成27年(2015年)度・ 平成28年(2016年)度	イタリア文化会館と連携 日本語・イタリア語によるおはなし会:千里図書館		IV-1 IV-3
	平成25年(2013年)度・ 平成26年(2014年)度	国際交流の会とよなか「TIFA」と連携 多言語おはなし会:庄内・野畑図書館		
	平成25年(2013年)度	国際交流の会とよなか「TIFA」と連携 打楽器を楽しもう:千里図書館		
【関係機関協力・連携】多文化共生推進事業 多文化多言語セミナー	令和4年(2022年)度・ 令和5年(2023年)度	国際交流協会主催 国際交流センター・協会の事業。市民と近隣在住外国人との出会い・交流の場の提供。千里・庄内各コラボセンターでの実施で、図書館の外国語資料利用活用も期待される。	庄内では2020年度より実施。この催しをいつから実施しているか。	IV-2 IV-4
【催し】ええやん!多文化共生イベント	平成21年(2009年)度?～	しょうないREKと連携事業 平成21年(2009年)度タイトル案:「子ども目線の、地域の『国際化』とは?」 ～親子で、地域で、学校で一緒に考えてみませんか?～	2009年度(案)の資料のみ 裏取り未:20230613 しょうないREC:「しょうないモデル事業実行委員会」の愛称 平成17年(2005年7月立ち上げ)	IV-2 IV-3 IV-4

豊中市における多文化サービスのあり方について

— 意見書 —

平成 13 年（2001 年）6 月 30 日

豊中市立図書館協議会

目 次

I. 豊中市の国際化の現状と課題

1. 現状

2. 課題

- ①外国人も地域で生活している市民であるという視点による人権擁護
- ②外国人市民が社会参加できる仕組みづくり
- ③異文化理解に関する学習を基調とした多文化共生のための教育の推進
- ④外国人市民の生活支援
- ⑤多言語情報提供や相談機能の充実
- ⑥とよなか国際交流協会、市民団体などとの連携、ネットワーク化

II. 図書館の多文化サービスのあり方

III. 豊中の図書館における多文化サービスの経過と現状

IV. 当面の目標施策

1. 利用促進のための資料の充実

● 図書

- 外国語（母国語）で書かれた日常生活に必要な実用書
- 日本語で書かれた外国人のための実用的な資料

● 逐次刊行物～雑誌・新聞など

● AV 資料

2. 相談業務

3. 広報・啓発

4. 行事・集会活動

5. 職員研修

6. 実施体制の整備